

こすもす文庫 ⑧

フラッと心の旅

高津区

宮前区

アートを求めて



次頁へ

写真：表紙－高津図書館前公園。彫刻や文学碑などがある。

裏表紙－大山街道ふるさと館。

彫刻は、宇田川君江「ためらい」



フラッと[♪]心の旅

高津区
宮前区

アートを求めて



川崎市男女共同参画センター
青木光子「静物」(1998年)



[前頁へ](#)



[次頁へ](#)

目 次

不思議な旅のはじまり	6
高津区役所	7
川崎市民プラザ	9
男女共同参画センター	15
大山街道ふるさと館	17
高津図書館	18
宮前区役所・宮前市民館	20
旅の終わりに	23





川崎市民プラザ（レストラン）
「二人」



[前頁へ](#)



[次頁へ](#)

[目次に戻る](#)

【不思議な旅のはじまり】

アートを求める旅にあたって、アートとは何かを考えてみたい。アートすなわち芸術とは、作家による精神世界の表出ではないかと思う。アートとふれあうとは、心のふれあいの体験ではないかと。例えば誰もいない部屋で、何かの存在を感じることがある。見回してみると、一枚の絵や彫刻があることに気づき、近づいてよく見ているうちに、その世界に引き込まれることがある。見る側の心のありようによってアートとの呼応の仕方が変わってくるのは、人によって評価が違う所以でもある。古来から客間などに、誰の、何の絵や書を飾っているかが、その人の評価につながるとされてきたのも、うなづける。

アートは人を感覚や思索に誘い込む不思議な生命体といえるようだ。この不思議な世界に、これから読者をご案内しようと思う。それも大きな美術館や博物館、あるいは有名人を訪ねて、めったに見られない芸術品を紹介するのではなく、誰でも、いつでも、見ることができる公共施設に飾ってあるものである。そこで発見できたことは、公共施設には、宝がいっぱいあるということだった。高津区、宮前区の主な施設を訪ね、そこに息づいているアートにスポットをあててみたい。

【高津区役所】

高津区役所の正面玄関を入ると、そこは広い吹き抜けの玄関ホールになっており、奥が事務室のカウンター、左側はステンドグラスを通して自然光を採り入れ、



高津区役所 長江録弥 陶壁画「多摩川」

正面上方の壁に大きな陶壁画が飾ってある。作者は長江録弥氏、高津区に居を定め、芸術院会員にも選ばれた彫刻家である。2005年（平成17年）に亡くなられたが、長江録弥氏の作品はこれから訪ねる公共施設にかなり寄贈され展示されている。

陶壁画「多摩川」は1993年（平成5年）の区役所新築に合わせて川崎西ロータリークラブによって寄贈された。生き物を育む多摩川への思いが、波間に描かれた鳥や魚、蟹や巻貝を通して描かれている。

区役所には、この他、2・3・4階の廊下に絵画の

小品が展示され、一点一点見て歩くのは楽しい。ご紹介できなかったが、この地域の祭りを描いた水墨画もある。



高津区役所 向山墨人「ノスタルジア」

【川崎市民プラザ】

川崎市民プラザには彫刻、絵画、タペストリー、色紙、書、陶器など、あらゆる分野にわたる美術品が所蔵されている。会議室には絵画が、宿泊室の床の間には掛け軸、色紙、陶器が飾られ、よく見ると高田好胤氏の書、円鋸勝三氏の色紙などもある。これらのおびただしい作品の中から幾つかをご紹介します。まず、彫刻では建物裏の庭園に3点がある。



川崎市民プラザ 宿泊室201
円鋸勝三 色紙「白梅」

川崎市民プラザ
円鋸元規 「すこやか」



川崎市民プラザ
井上麦「シャリグラム」

川崎市民プラザ
大槻一二「愛（母子像）」

これらの作品には、健康美、家族愛、自然界の生命力が表現され、すがすがしい。

絵画では、廊下、階段上、会議室や事務室、劇場の通路などにふんだんに展示されているが、中でも劇場通路には大作がずらりと並んでいる。不思議な雰囲気醸し出している作品に森本幹生氏の「飛ぶ」がある。楽器を背負った長い衣を着た男の手の先に飛び立つ鳥が描かれている。闇を思わせる暗い空間に浮き立つ男と鳥の組合せは何を物語っているのだろうか。同じように精神世界を描いたと思われる作品に、井上俊郎氏



川崎市民プラザ 森本幹生「飛ぶ」

※画面上の光は撮影によるもの。



川崎市民プラザ 井上俊郎「ガンガのひとり」

の「ガンガのひとり」がある。2階宿泊室のロビーに掛けられたこの大作は、静かな空間の中で、修行僧が生と死を見つめているように見えるが…。

劇場通路には、横尾靖氏の作品もある。かつて川崎市に住み、今は佐賀県に移住して作家活動が続けている。市民プラザには彼の作品が2点あり、2点とも若い頃の作品のようだ。



川崎市民プラザ 横尾靖「未来への祈り」



川崎市民プラザ
横尾靖



川崎市民プラザ 岡信孝「秋野」

日本画家の岡信孝氏の作品も2点、所蔵されている。日本画の持つ透明な画風、花鳥風月を描く細やかな筆づかいの彼の絵を見ることができるのは、ファンにとっては大きな喜びである。

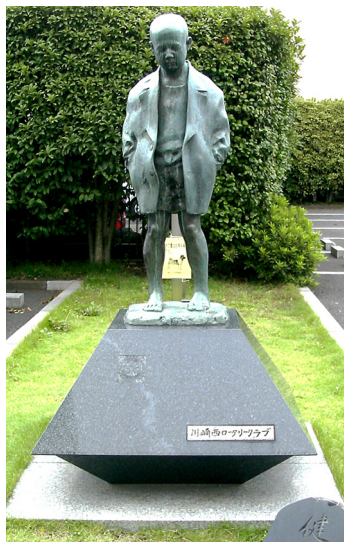
ご紹介できたのはごく一部の作品で、独断と偏見で取り上げさせていただいた。全部を掲載することは無理で、またの機会に譲りたい。とにかく川崎市民プラザは芸術作品の所蔵数からいっても奥が深く、市民にとっては貴重な施設であることがわかった。

【男女共同参画センター】

川崎市男女共同参画センターの前庭に、少年像が立っている。川崎西ロータリークラブが同クラブの15周年記念として1980年（昭和55年）に寄贈したもの。作者は長江録弥氏。ダブダブの上着にイガグリ頭の少年が、しょんぼりと途方にくれている。「雨の日など、通りすがりの人が、思わず傘をさしかけたくなる思いを抱いてくれたら…」と、当時、作者が語っている。

その後「健ちゃん」という愛称が公募によってつけられた。

戦後、日本は貧困のどん底だったが、どんなに貧しくても子供を叱って正しく育てようとしてきた。この少年像は当時の親子関係を見事に表現している。しかし、物が豊かな飽



男女共同参画センター
長江録弥「健ちゃん」

食時代の今、この像を見て「暗い」と言う人もいるという。芸術作品が時代によって、受ける印象がこんなにも違ってしまう。

館内には、3階と4階の廊下に優しいタッチのパステル画がかけてある。男女共同参画センターは、女性を支援するための施設で、パステル画の柔らかさに女性への思いが感じられる。本誌の扉に載せた絵も同じ作者の作品で、心の和む思いがした。



男女共同参画センター 「花」(1998年)

【大山街道ふるさと館】

大山街道は、信仰の山・大山への参詣の道であった。今は国道246号線に生まれ変わったが、旧道はところどころに名残をとどめている。「大山街道ふるさと館」は、これらの街道にまつわる歴史・民俗学の資料や、地域にゆかりのある文化人の紹介・展示を目的に、1992年（平成4年）に街道に面してオープンした。

館内には、歴史的な展示と対照的に、2点の現代彫刻が展示されている。川崎市在住の女性彫刻家の作品で、作者は彫刻界の重鎮、圓鋳勝三（故人）・園鋳元規親子の受講生であったことが、紹介文に載っている。

古い歴史と現代彫刻、そこに絶妙な調和が醸し出されていた。



大山街道ふるさと館
宇田川君江「巣立ち」

【高津図書館】

旧大山街道沿いには高津図書館もある。図書館は小さな公園の奥にあり、公園には岡本かの子文学碑、国木田独歩の碑、長江真弥氏の彫刻がある。

図書館の入口に読書に熱中する少年像がある。作者は長江録弥氏で、精神の集中をみごとに表している。この少年像は人間の内面性を完璧に表現している。

男女共同参画センターの「健ちゃん」もそうだが、じーっと観ているうちに、人間が成長する過程でのさまざまな場面が想起され、記憶が甦ってくるのを覚えた。作者が過ごしたであろう戦後日本の文化状況や、旺盛な知的好奇心、未知への強い憧れがこちらの記憶とリンクして、心に響くものがあつた。



高津図書館 長江録弥「学ぶ君」



高津図書館前公園 長江真弥「RELATIONS」

【宮前区役所・宮前市民館】

高津区から宮前区へ足を伸ばして宮前区の行政の中心地を訪ねてみた。ここには区役所、図書館、市民館、消防署が集中し、区役所と他の施設は駐車場で区切られ、駐車場の上が市民広場になっている。そこに彫刻が2点、「光あれ」と題した長江録弥氏の男性像と、「平和の想い」と題した佐多透氏の鳩を手を持つ少女像がある。「光あれ」は、神が創った人間の美しさ、崇高さが高らかに歌い上げられている。西洋芸術には、絵画にしても彫刻にしても裸像が多い理由に、人間讃歌があるのだろう。「平和の想い」は、鳩を手必死に祈る少女の姿から、「戦争を二度としないで」という思いが伝わってくる。

区役所4階の廊下に、対面するように春と秋の風景画が飾ってある。日本の原風景である。

彫刻のある庭園を横切り、対面する市民館に向かう。ドアを開けると奥が図書館になっており、手前壁面には長江録弥氏の絵画がかけてある。かなりの大作で、しかも不思議な絵である。星がきらめく青い空間に水晶体のような物体が浮かび、中に縄文土器が納まっている。図書館は古来から現代までの書物を収蔵するところなので、そんなイメージで描いたのだろうか。



宮前区役所
長江録弥「光あれ」



宮前区役所
佐多透「平和への想い」



宮前区役所 「犬蔵谷戸」



宮前区役所 「山道散歩 (十和田)」



宮前市民館 長江録弥「伝承と創造」(1984年)

【旅の終わりに】

アートを求めて高津区と宮前区の公共施設を探索してみた。そこには豊かな精神世界があった。日常生活の中で忘れたものを探す小さな旅、一人一人の人間復興の試みとして、アートを訪ねてはどうだろうか。

こすもす文庫 ⑧

フラットと心の旅

高津区・宮前区

アートを求めて

発行 2005 年 11 月 10 日

＊

発行者 こすもす文庫代表 戸張満江

＊

発行所 戸張会計事務所

〒213-0002 川崎市高津区二子 5-1-15

電話 044-833-4361 (代)

FAX 044-844-6035

ホームページ URL: www.tobari-kaikei.com

キーワード検索: 戸張会計・tobari-kaikei・

とばりかいけい・トバリカイケイ

＊

編集・制作 有限会社田園都市出版

電話 042-780-2405



前頁へ



次頁へ

目次に戻る

戸張 公認会計士 事務所 税 理 士

税務・経営・監査

こすもす簿記システム(当社開発自計用簿記)導入指導

〒213-0002 川崎市高津区二子 5-1-15 高津駅 3 分

TEL 044-833-4361 (代) FAX 044-844-6035

HPアドレス(URL) : www.tobari-kaikei.com

こすもす教室

パソコン、生花、茶道、料理、英会話教室などにご利用いただけます。午前、午後、夜、曜日別月契約となります。

所在地：川崎市高津区二子 5-1-15 高津駅 3 分

お申し込みは戸張会計事務所：電話 044-833-4361

こすもすホール(貸ホール)

www.cosmos-shop.com/hall1/

ダンス、バレエ、リトミック、気功、ピアノ、カラオケ、コーラス、パソコン教室、簿記教室、料理教室などにご利用いただけます。

午前、午後、夜、曜日別月契約となります。

ひさもと：川崎市高津区久本 2-2-1 洗足学園手前

さかど：川崎市高津区坂戸 1-6-9 イトーヨーカ堂先

お申し込みは戸張会計事務所：電話 044-833-4361

スパゲッティとドリアの店 ファーム

川崎市高津区久本 2-2-1

洗足学園手前交差点角

TEL 044-865-8118

各種パーティ、ご宴会のご予約を承ります。



前頁へ



次頁へ

目次に戻る

